

安全・安心で夢と希望の持てるまちづくり

「緑と健康で豊かな文化都市」の実現に向けて

都市基盤整備、少子・高齢化対策、教育の充実などを

明るい未来への架け橋になるものと考えています。また、入管駅東口の整備は、平成20年度の都市計画決定に向け、歩行者の安全性の確保など、駅への利便性を重視したまちづくりに積極的に取り組みます。少子・高齢化対策

理者制度導入などによる経常経費の削減、用途を廃止した道水路敷の売却や企業誘致などによる自主財源の確保、国庫補助金の活用などに努め、事業を積極的に推進してきました。

次代を担う大切な子ども達が健康やかに生まれ育つ環境づくりのため、乳幼児医療費の支給対象を小学校入学前から小学校3年生修了時まで拡大し、保護者の利便性を図るため、医療費の窓口払いを廃止します。また、妊婦の無料健診の拡大にも取り組んでいきます。

一方、高齢化対策は、入間川地区に特別養護老人ホームを開所するとともに、奥富地区に介護予防施設を整備します。教育の充実

学校教育の充実を図るため、すべての小・中学校に教育支援員を配置するとともに、小・中学校の文化・スポーツ活動を支援するため、児童・生徒の大会などへの派遣費

平成20年第1回定例会市議会で、仲川市長が市政運営に向け、施政方針を述べました。その概要と20年度の主な事業をお知らせします。

施政方針を述べる
仲川市長



私は、狭山市が目指す「緑と健康で豊かな文化都市」の実現を政策の基本に、「第3次狭山市総合振興計画中期基本計画」に位置づけた重点施策を、選択と集中を図る中で積極的に推進してきましたが、これらはいずれも明日の狭山を築く礎になるものと確信しています。

さて、現下の地方を取り巻く情勢は、二位一体の改革により国庫補助金の削減、所得税から住民税への税財源移譲、交付税の見直しが進むとともに、行革推進法、地方分権改革推進法が施行されるなど、改革への動きが加速化しています。そのため、行財政集中改革プランを策定し、職員定数の適正化や公の施設への指定管

このような中で平成20年度は、さらなる市民福祉の向上を目指し、都市基盤の整備、少子・高齢化対策、教育の充実などに重点的に取り組んでいきます。

都市基盤の整備

狭山市駅西口地区整備事業では、市街地再開発事業、新都市機能ゾーン整備事業とともに、新たに橋上駅舎として生まれ変わる狭山市駅と、駅の東西を結ぶ自由通路の整備事業費を予算化しました。この東西自由通路は、商業施設や公益施設、駅前広場へと歩行者デッキで結ばれることから、狭山の



大切な狭山の自然を次世代へ

の助成や部活動に欠かせない指導員の充実に努めます。また、小・中学校校舎の耐震補強工事や小学校校舎の冷暖房工事を行います。地域の活性化に向けた取り組み設置した地区センターの機能を拡充し、地域を支える人材の育成と活用を図るため、成年・シニアを対象とする、大人の学舎（仮称）狭山元氣大学」の設立に向けた計画の策定に取り組みます。「未来を拓く子ども達が夢と希望の持てるまちづくり」各種施策の実施に当たっては、「元氣な狭山をみんなで作る」を私の政策の基本理念として、市民の皆さんの負託に応えつつ市政運営を目指し、「未来を拓く子ども達が夢と希望の持てるまちづくり」に全力で取り組んでいきます。

平成20年度予算は選択と集中で

狭山市総合振興計画の6つの柱を中心に事業を展開

歳入の根幹をなす市税は、個人市民税が住宅借入金等特別控除の創設で減額となり、これを法人市民税と固定資産税などが補う形で、総額では増額としました。また、地方消費税交付金は19年度実績を基に増額としましたが、普通交付税不交付団体に対する減額の経過措置で、特別交付税が大幅に減額し、さらに、国庫補助金対象事業の減少などで、歳入全般は、引き続き厳しい状況となっています。

の削減に努めました。また、投資的経費の単独事業費を減額するなど、事業ごとに精査と見直しを図り、歳出の総量抑制に努めていますが、都市基盤整備、少子・高齢化対策、教育の充実などには、重点的に予算を配分しました。

この結果、一般会計予算は対前年度比3.2%減の418億円となり、特別会計と水道事業会計を加えた全会計の総額では、対前年度比7.6%減の765億6千538万4千円としました。この予算を基に、次の6つの柱を中心に事業を実施します。

また、埼玉県緑のトラスト保全地として選定された堀兼・上赤坂地区をはじめとする市南部に広がる平地林と市街化区域に残された緑地の保全などに、緑の基金を活用しながら取り組みます。

1 緑豊かで環境と共生するまちをめざして【環境共生】

世界的な規模で環境の保全が強く求められる中、深刻化する地球温暖化対策に取り組めます。市民や市民団体、事業者などと一丸となつて、狭山市地球温暖化対策地域推進計画アクションプランの重点施策を推進します。なお、狭山市環境マネジメントシステムISO14001は、埼玉県西部地域まちづくり協議会構成市の所沢市、飯能市、入間市と協力し、外部認証から自己宣言へと移行します。

また、埼玉県緑のトラスト保全地として選定された堀兼・上赤坂地区をはじめとする市南部に広がる平地林と市街化区域に残された緑地の保全などに、緑の基金を活用しながら取り組みます。

歩きたばこ防止のキャンペーン
5月から市内駅周辺道路が路上喫煙禁止地区に

環境共生//重点事業と予算

- 廃プラスチック類分別収集リサイクル事業 ... 1億4,317万7千円
- 第二環境センター設備改修事業 ... 1億4,609万4千円
- リサイクルプラザ費 1,647万1千円
- 平地林等公有地化事業 1億5,584万円



など、快適な生活環境の確保に取り組めます。
ごみの減量化とリサイクルの推進では、廃プラスチック類の分別収集を市内全域で実施します。